



meiji

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月6日

上場会社名 明治ホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 2269 URL <https://www.meiji.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 松田 克也
問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 田中 正司 TEL 03-3273-3524
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第1四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	273,569	△1.8	17,749	△13.4	17,984	△13.3	10,095	△27.6
	278,704	6.1	20,498	5.1	20,752	8.0	13,949	20.3

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 7,951百万円 (△61.9%) 2025年3月期第1四半期 20,873百万円 (△14.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第1四半期	円 銭 37.27	円 銭 —
2025年3月期第1四半期	50.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年3月期第1四半期	百万円 1,200,568	百万円 784,497	% 61.8	円 銭 2,739.21
2025年3月期	1,184,472	791,783	63.2	2,762.33

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 742,024百万円 2025年3月期 748,288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 100.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	52.50	—	52.50	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
第2四半期(累計)	百万円 589,000	% 3.5	百万円 39,500	% △11.0	百万円 37,500	% △13.5	百万円 22,500	% △16.3	円 銭 82.41
通期	1,195,000	3.5	91,000	7.4	87,500	6.7	54,000	6.3	197.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、[添付資料]14ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 1Q	282,200,000株	2025年3月期	282,200,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期 1Q	11,310,560株	2025年3月期	11,309,372株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 1Q	270,889,598株	2025年3月期 1Q	277,733,394株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 8ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算短信補足説明資料の入手方法について）

決算短信補足説明資料は決算短信に添付し T D n e t で開示しております。また、当社ホームページにも同日掲載いたします。

（アナリスト・機関投資家向け電話会議資料の入手方法について）

当社は、2025年8月6日（水）にアナリスト・機関投資家向けの電話会議を開催する予定です。この電話会議におけるプレゼンテーション資料及び音声情報は、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
四半期連結損益計算書	11
四半期連結包括利益計算書	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	14
(セグメント情報等の注記)	14
(重要な後発事象)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年6月30日）における当社グループの経営環境は、国内において雇用・所得環境の改善が見られる一方、物価上昇に伴う生活防衛意識の高まりから節約志向が強まる傾向にあります。また、不安定な国際情勢や米国の関税政策、為替変動など世界経済の先行きも不透明な状況が続いている。

このような環境下、当社グループは2024年4月よりスタートした「2026中期経営計画」の達成に向けた取り組みを進めています。

食品セグメントでは、価格改定によりコスト上昇分の吸収に取り組むと同時に、既存品の付加価値提案強化や新商品の売上拡大に注力しました。国内ではB to B事業の成長拡大に取り組み、海外では中国事業におけるリバイバルプランの実行を通じて収益性の改善に努めました。

医薬品セグメントでは、抗菌薬やワクチンの安定供給に取り組むとともに、経済安全保障上の課題である抗菌薬の原薬生産体制の構築を進めました。また、新型コロナウイルス感染症に対する次世代mRNAワクチン（レプリコン）「コスタイベ筋注用」の2人用バイアル製剤や、新規β-ラクタマーゼ阻害薬「OP0595（ナキュバクタム）」などの開発も進めています。加えて、ジェネリック医薬品業界が抱える供給不安の構造的問題を解決するため、複数の企業と企業間連携に向けた協議を開始しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,735億69百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は177億49百万円（同13.4%減）、経常利益は179億84百万円（同13.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は100億95百万円（同27.6%減）となりました。

（単位：億円）

	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	対前年同期 増減額	主な増減要因
売上高	2,787	2,735	△51	詳細はセグメント別の概況に記載
営業利益	204	177	△27	詳細はセグメント別の概況に記載
営業外収益	14	15	1	為替差益+1
営業外費用	12	13	1	—
経常利益	207	179	△27	—
特別利益	35	19	△16	投資有価証券売却益△34、 固定資産売却益+17
特別損失	21	7	△13	固定資産廃棄損△13
税金等調整前 四半期純利益	221	191	△30	—
法人税等	77	83	5	—
非支配株主に帰属する 四半期純利益	4	6	2	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	139	100	△38	—

セグメント別の概況は以下のとおりです。

①食品セグメント

- ・売上高は前年同期並みとなりました。カカオ事業やフードソリューション事業は前年同期を上回りました。デイリー事業は前年同期並み、ニュートリション事業は前年同期を下回りました。
- ・営業利益は前年同期を上回りました。デイリー事業やカカオ事業、フードソリューション事業は前年同期を大幅に上回りました。ニュートリション事業は前年同期を大幅に下回りました。

(単位: 億円)

		2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	対前年同期 増減率
食品	売 上 高	2,259	2,248	△0.5%
	営業利益	135	136	1.1%

営業利益増減分析 (単位: 億円)



事業別の概況は次のとおりです。

(単位: 億円)

売 上 高				営業利益			
	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	対前年同期 増減率		2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	対前年同期 増減率
デイリー	672	669	△0.5%	デイリー	48	60	23.7%
カカオ	373	387	3.9%	カカオ	22	31	37.2%
ニュートリ ション	305	291	△4.5%	ニュートリ ション	41	31	△25.5%
フードソリ ューション	481	487	1.2%	フードソリ ューション	16	17	10.1%
その他	426	412	△3.4%	その他	5	△4	—

ディリ一事業 (プロバイオティクス、ヨーグルト、牛乳、海外)

- ・売上高は前年同期並みとなりました。国内では、市販用のヨーグルトや中容量タイプの牛乳が好調に推移しましたが、宅配チャネルのプロバイオティクスや牛乳の不調により前年同期並みとなりました。海外では、中国の市販用牛乳・ヨーグルトが増収となりました。
- ・営業利益は前年同期を大幅に上回りました。国内は、宣伝費の減少などにより増益となりました。海外は、中国の市販用牛乳・ヨーグルト事業におけるリバイバルプランの着実な実行により赤字額が縮小しました。

カカオ事業 (チョコレート、グミ、海外)

- ・売上高は前年同期を上回りました。国内では、チョコレートが価格改定効果に加えチョコレートスナックの伸長により増収となりました。グミも新商品が好調に推移し増収となりました。海外は、米国が好調に推移したものの為替の影響などにより減収となりました。
- ・営業利益は前年同期を大幅に上回りました。国内は、原材料コストが増加しましたが価格改定効果により増益となりました。海外は、中国における原材料高騰などが影響し減益となりました。

ニュートリション事業 (乳幼児ミルク、スポーツ栄養、高栄養食品、海外)

- ・売上高は前年同期を下回りました。国内では、乳幼児ミルクがインバウンド需要の減少などの影響で減収となりました。スポーツプロテイン「ザバス」も粉末タイプが減収となりました。海外は、台湾の乳幼児ミルクが増収となりました。
- ・営業利益は前年同期を大幅に下回りました。国内では、原材料コストの増加を価格改定でカバーしましたが、乳幼児ミルクなどの減収により減益となりました。海外は、前年同期に発生した事業拡大のための先行投資費用の反動により増益となりました。

フードソリューション事業 (B to B、チーズ、フローズンデザート、海外)

- ・売上高は前年同期を上回りました。国内では、業務用のクリームやカカオが増収となりました。チーズも主力の「明治北海道十勝カマンベールチーズ」が好調に推移しました。海外では、中国の業務用牛乳やフローズンデザートが減収となりました。
- ・営業利益は前年同期を大幅に上回りました。国内は、業務用のクリームやカカオの増収が寄与し増益となりました。海外は、中国のフローズンデザートの減収が影響し減益となりました。

その他事業 (乳原料、国内独立系子会社、海外)

- ・売上高は、受託製造品の減収が影響し前年同期を下回りました。
- ・営業利益は、国内の受託製造品の減収と、海外の事業拡大のための先行投資費用の発生により営業損失となりました。

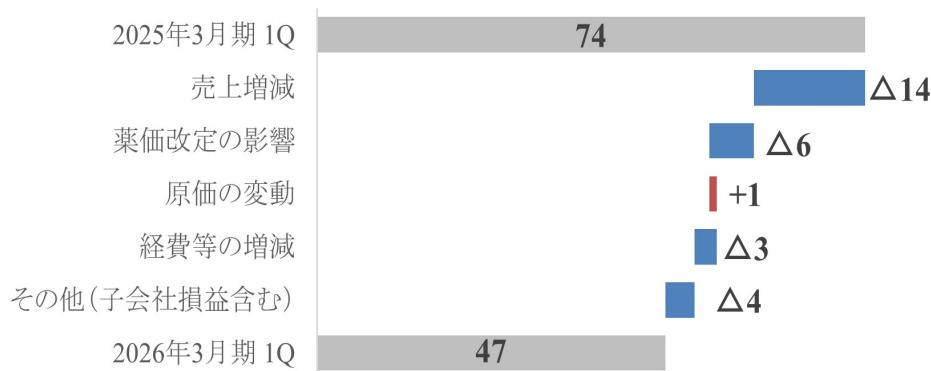
②医薬品セグメント

- ・売上高は前年同期を下回りました。ワクチン・動物薬事業は前年同期を上回りましたが、国内事業は前年同期を下回り、海外事業は前年同期を大幅に下回りました。
- ・営業利益は前年同期を大幅に下回りました。3事業ともに減益となりました。

(単位: 億円)

		2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	対前年同期 増減率
医薬品	売 上 高	529	490	△7.3%
	営業利益	74	47	△35.5%

営業利益増減分析 (単位: 億円)



事業別の概況は次のとおりです。

(単位: 億円)

売 上 高				営業利益			
	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	対前年同期 増減率		2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	対前年同期 増減率
国内	284	275	△3.0%	国内	61	43	△28.4%
海外	186	152	△18.3%	海外	30	22	△26.1%
ワクチン・ 動物薬	58	62	6.9%	ワクチン・ 動物薬	△17	△18	—

国内事業 (感染症、免疫、CNS、ジェネリック医薬品)

- ・売上高は前年同期を下回りました。抗菌薬は前期好調の反動と、前年同期に比較し感染症の流行がみられなかつたため減収となりました。中枢神経系（CNS）領域の受託製造品の出荷の時期ずれも影響しました。一方、2024年5月発売の選択的ROCK2阻害剤「レズロック錠」は大幅に伸長し、血漿分画製剤も増収となりました。
- ・営業利益は、減収や薬価改定の影響により前年同期を大幅に下回りました。

海外事業 (海外自販、海外CMO／CDMO、グローバル品)

- ・売上高は前年同期を大幅に下回りました。為替の影響に加えて、インドやスペインの子会社が減収となりました。
- ・営業利益は、インドやスペインの子会社の減益により前年同期を大幅に下回りました。

ワクチン・動物薬事業 (ワクチン、動物薬、新生児マスククリーニング)

- ・売上高は前年同期を上回りました。5種混合ワクチン「クイントバック」の伸長により増収となりました。
- ・営業利益は、ワクチン普及費用の増加などにより営業損失が拡大しました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(単位：億円)

	2025年3月期	2026年3月期 第1四半期	対前期末 増減額	主な増減要因
流動資産	5,407	5,532	124	原材料及び貯蔵品+225、商品及び製品+94、受取手形及び売掛金△122
固定資産	6,437	6,473	36	建設仮勘定+97、投資有価証券△18、建物及び構築物（純額）△18、機械装置及び運搬具（純額）△12
資産合計	11,844	12,005	160	—
流動負債	3,070	3,411	340	コマーシャル・ペーパー+250、短期借入金+172、1年内償還予定の社債+100、未払費用△177
固定負債	856	749	△107	社債△100
負債合計	3,926	4,160	233	—
株主資本	6,840	6,805	△34	利益剰余金△34
その他の包括利益 累計額	642	614	△28	為替換算調整勘定△30
非支配株主持分	434	424	△10	—
純資産合計	7,917	7,844	△72	—
負債純資産合計	11,844	12,005	160	—

有利子負債	478	897	419	コマーシャル・ペーパー+250、短期借入金+172
自己資本比率	63.2%	61.8%	△1.4pt	—

②キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	対前年同期 増減額	主な増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	△194	△51	142	仕入債務の増減額+156
投資活動による キャッシュ・フロー	97	△144	△241	投資有価証券の売却による収入△205、 補助金の受取額△24、 有形固定資産の取得による支出△23
財務活動による キャッシュ・フロー	△61	274	336	短期借入金の純増減額+180、 自己株式の増減額+107、 コマーシャル・ペーパーの増減額+50
現金及び現金同等物 の期末残高	857	743	△114	—
フリー・ キャッシュ・フロー	△96	△195	△98	—

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月9日の「2025年3月期決算短信」で公表いたしました2026年3月期の連結業績予想に
変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	78,191	86,206
受取手形及び売掛金	189,533	177,324
商品及び製品	127,621	137,044
仕掛品	5,084	8,187
原材料及び貯蔵品	81,919	104,435
その他	58,817	40,158
貸倒引当金	△401	△111
流动資産合計	540,765	553,245
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	377,109	379,035
減価償却累計額	△189,056	△192,860
建物及び構築物（純額）	188,053	186,175
機械装置及び運搬具	598,984	602,799
減価償却累計額	△438,925	△444,013
機械装置及び運搬具（純額）	160,059	158,785
工具、器具及び備品	60,292	60,159
減価償却累計額	△47,456	△47,677
工具、器具及び備品（純額）	12,836	12,481
土地	76,092	76,058
リース資産	3,313	1,511
減価償却累計額	△2,260	△947
リース資産（純額）	1,053	564
建設仮勘定	45,807	55,510
有形固定資産合計	483,901	489,575
無形固定資産	19,240	19,077
投資その他の資産		
投資有価証券	78,354	76,533
退職給付に係る資産	37,616	37,757
繰延税金資産	15,773	15,754
その他	8,873	8,679
貸倒引当金	△54	△54
投資その他の資産合計	140,563	138,669
固定資産合計	643,706	647,322
資産合計	1,184,472	1,200,568

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	102,846	109,154
短期借入金	25,376	42,661
1年内償還予定の社債	—	10,000
コマーシャル・ペーパー	—	25,000
未払費用	48,785	31,076
未払法人税等	14,332	8,864
契約負債	721	863
返金負債	20,784	15,804
賞与引当金	11,496	5,861
その他	82,734	91,881
流動負債合計	307,077	341,168
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	12,423	12,112
繰延税金負債	3,747	3,520
退職給付に係る負債	50,602	50,712
役員退職慰労引当金	79	77
その他	8,757	8,479
固定負債合計	85,611	74,902
負債合計	392,688	416,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	38,708	38,708
利益剰余金	649,258	645,809
自己株式	△33,956	△33,957
株主資本合計	684,010	680,560
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,261	16,770
繰延ヘッジ損益	△17	△2
為替換算調整勘定	35,752	32,716
退職給付に係る調整累計額	12,282	11,978
その他の包括利益累計額合計	64,278	61,463
非支配株主持分	43,494	42,473
純資産合計	791,783	784,497
負債純資産合計	1,184,472	1,200,568

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	278,704	273,569
売上原価	196,712	193,576
売上総利益	81,992	79,992
販売費及び一般管理費	61,493	62,242
営業利益	20,498	17,749
営業外収益		
受取利息	111	193
受取配当金	527	494
為替差益	333	523
その他	489	371
営業外収益合計	1,461	1,582
営業外費用		
支払利息	78	109
持分法による投資損失	882	721
その他	246	516
営業外費用合計	1,207	1,347
経常利益	20,752	17,984
特別利益		
固定資産売却益	74	1,848
補助金収入	8	76
その他	3,443	—
特別利益合計	3,525	1,924
特別損失		
固定資産廃棄損	1,915	571
固定資産圧縮損	8	75
その他	185	127
特別損失合計	2,109	773
税金等調整前四半期純利益	22,168	19,135
法人税等	7,768	8,352
四半期純利益	14,400	10,783
非支配株主に帰属する四半期純利益	450	687
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,949	10,095

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	14,400	10,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,381	500
繰延ヘッジ損益	79	14
為替換算調整勘定	6,707	△2,120
退職給付に係る調整額	561	△321
持分法適用会社に対する持分相当額	1,506	△905
その他の包括利益合計	6,473	△2,831
四半期包括利益	20,873	7,951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,343	7,280
非支配株主に係る四半期包括利益	529	671

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	22,168	19,135
減価償却費	14,151	13,472
有形固定資産除却損	362	570
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△122	△279
賞与引当金の増減額（△は減少）	△4,760	△5,633
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△364	△661
受取利息及び受取配当金	△639	△687
支払利息	78	109
持分法による投資損益（△は益）	882	721
有形固定資産売却損益（△は益）	△74	△1,731
売上債権の増減額（△は増加）	3,452	11,939
棚卸資産の増減額（△は増加）	△11,417	△35,520
契約負債の増減額（△は減少）	489	153
仕入債務の増減額（△は減少）	△9,515	6,140
その他	△18,534	△1,600
小計	△3,842	6,130
利息及び配当金の受取額	1,331	1,899
利息の支払額	△43	△64
法人税等の支払額	△16,897	△13,122
営業活動によるキャッシュ・フロー	△19,451	△5,157
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額（△は増加）	384	△236
有形固定資産の取得による支出	△11,761	△14,157
無形固定資産の取得による支出	△1,471	△1,145
有形及び無形固定資産の売却による収入	114	2,006
補助金の受取額	2,425	22
投資有価証券の取得による支出	△100	△239
投資有価証券の売却による収入	20,565	—
その他	△386	△667
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,770	△14,417
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△50	18,000
コマーシャル・ペーパーの増減額（△は減少）	20,000	25,000
長期借入金の返済による支出	△979	△1,015
自己株式の増減額（△は増加）	△10,741	△1
配当金の支払額	△13,033	△13,332
非支配株主への配当金の支払額	△788	△668
その他	△555	△508
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,149	27,473
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,385	13
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△14,445	7,911
現金及び現金同等物の期首残高	102,832	66,398
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,609	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	85,777	74,309

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	食品	医薬品			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	225,803	52,901	278,704	—	278,704
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	154	5	159	△159	—
計	225,957	52,906	278,864	△159	278,704
セグメント利益	13,531	7,422	20,954	△455	20,498

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△455百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△460百万円が含まれております。全社費用は当社（持株会社）運営に係る費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

のれんの金額の重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれんの発生はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	食品	医薬品			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	224,553	49,015	273,569	—	273,569
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	248	6	254	△254	—
計	224,801	49,022	273,823	△254	273,569
セグメント利益	13,677	4,787	18,464	△715	17,749

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△715百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△721百万円が含まれております。全社費用は当社運営（持株会社）に係る費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

のれんの金額の重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれんの発生はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。